

令和5年6月20日

生成系 AI の利用について

学生の皆さん

Chat GPT などの生成系 AI の利用によって、文章、プログラムなどを容易に作成することが可能です。生成系 AI は、日常の様々な局面において便利なツールとなる可能性を有しています。一方で、生成系 AI の作成する文章等の元となるのは Web 上の既存データであるため、その回答には下記のようなリスクがあります。

- ・著作権に抵触する、あるいは剽窃（ひょうせつ：盗用の意味）となる可能性がある
- ・間違っていたり、根拠のないデータを含んでいたりする可能性がある
- ・入力された機密情報、個人情報は収集・学習され、後の回答の元データとなり得る

生成系 AI については、このようなリスクがあることを十分に認識したうえで、能動的な態度での利用が求められます。もちろん、自らの学びの成果が問われるレポートや課題を生成系 AI で作成をすることは認められませんが、考えをまとめる際の補助ツールとする、文章の校正につかう、など、自らの学びをサポートするツールとして捉えてみてください。

今後、様々な AI ツールは私たちの暮らしにとって不可欠なものとなっていくでしょう。健康や教育についての専門家を目指すみなさんは、それぞれの職業分野での AI ツールの利用のされ方について理解を深めていくことも大切でしょう。

「ホモ・サピエンス」とは「知恵のあるヒト」を意味します。本学の建学の精神にある「知をみがく」とは、未知なるものを自ら探求し、既存の現象に対し「何故か」を問い続ける営みです。生成系 AI の能動的な利用に限らず、学修に際しては自ら学ぶ姿勢を常に忘れず、物事の理解を深め、本質を捉えることを意識してください。

畿央大学 教育推進室長
冬木 正彦